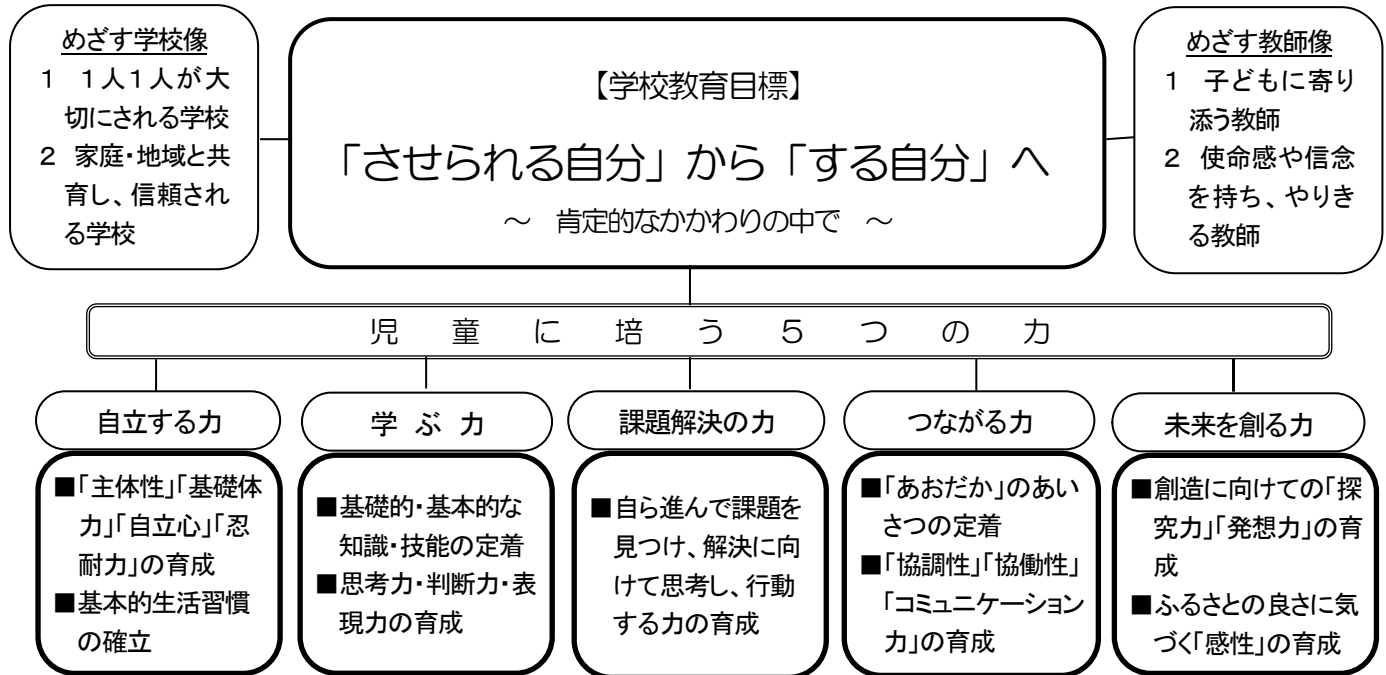


豊岡南北中学校区で育てる子どもの姿

夢や目標に向かい、自分とふるさとの未来を切り拓く子

◆自ら考え行動する子 ◆心と体を鍛え、最後までやりぬく子 ◆ふるさとを誇りに思い、ふるさとを語れる



指導の柱

実践のキーワード：「聴く」「つなぐ」「ほめる」

「する自分」を創り出す教育とは、児童の学習意欲、生活意欲を対象とした教育活動である。そのためには、「意思」を鍛え、児童が備える「欲求」を刺激することが重要となる。子どもたちが、なりたい自分をめざし、真の「学びの主人公」となるためには、本校の全ての教育活動の基盤に、子どもの声を「聴く」、子ども同士を「つなぐ」、子どもを「ほめる」をキーワードとした「肯定的な関わり」を据え、全職員で支持的風土のある学級・学年・学校づくりを進めていく。

3つの最重点的取組

1 肯定的な関わりを通して、子どもを育てる

- (1) 子どもに寄り添い、子どもの声を聴く。(傾聴)
- (2) 特別支援教育の視点を教育活動の根底に置き、児童のアセスメントに基づく支援の充実を図る。

2 授業で子どもを育てる

- (1) どの子も達成感・成就感が味わえる授業（小さなできたを大切に作る授業）づくりに努める。
 - ・「授業における5つの『徹底・継続』実践事項」の実践を柱に据え、「主体的・対話的で深い学び」の実践に努める。
- (2) 児童のつまずきに対応した個別指導をこまめに行う。（つまずきを先送りしない。）

3 小中一貫教育を推進する

- (1) 南北中学校区での学習指導と生活指導の連携を強化する。
- (2) 取組2年目を「徹底」の年と位置づけ、「ローカル&グローバル学習」（ふるさと教育、コミュニケーション教育、英語教育）、「一貫した指導」の取組の改善と定着を図る。

経営の重点

	重点課題	本年度の努力目標	具体的な取組内容
教育課程	確かな学力を身に付ける学習指導	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を推進する。	◆「子どもと子どもをつなぐ授業づくり」に向け、全教員が年1回の授業提案を行う。
	道徳教育	人としてよりよく生きるための基本的な心構えや行動の仕方について体験的・実践的な活動を通して学ばせる。	◆学校、家庭、地域との連携をはかりながら、道徳性を養っていくため、オープンスクールなどを利用し、年1回以上道徳の授業を公開する。
	英語遊び・外国語活動・英語科	英語を主として、積極的に人と関わるコミュニケーション力を培う。	◆児童とALTが関わる機会を積極的に持つ。(授業、給食、掃除、昼休みなど)
	総合的な学習の時間	体験的・探究的な活動を通して課題追究力、コミュニケーション力、自己表現力を培う。	◆「ふるさと学習」を含めた探究型新カリキュラムを実践し、検証する。
	特別活動	自分の役割を自覚し、責任を持って行動する態度を育てる。	◆異年齢が触れ合う縦割り班活動の充実を図る。 ◆児童集会を通して委員会活動を充実させる。
学校運営	開かれた学校づくり	保護者、地域との双方向での情報発信と地域の教育力の	◆小中一貫教育に係る「英語」「ふるさと教育」「コミュニケーション教育」の授業公開を積極的に行う。
	勤務時間の適正化	・「働き方改革」に向けての意識改革を推進する。 ・業務の見直しと業務改善を推進する。	◆研修を行い、業務改善の具体的取組を協議する。 ◆学期に1回程度、委員会を開催し、取組の評価を行う。
	引継連携システムの強化	子どもの発育と学習の系統性・連続性を重視した学習指導、生活指導を推進する。	◆「小中一貫教育」のプログラムの実践と児童の変容についての検証を行う。
	生徒指導(いじめや不登校問題を含む)	・いじめの未然防止と積極的に認知に努め、早期の組織的対応に努める。 ・不登校の予防と支援に努める。	◆「規則」や「きまり」の共通認識のもと、指導の徹底を図る。 ◆児童の情報の共有と迅速な対応に努める。
	職員研修の推進	授業力や多様な教育課題への対応力の向上を図る。	◆講師を招聘し、授業における効果的な話し合い、対話の研修を進める。
	危機管理体制の整備	教職員の危機管理意識の高揚と、迅速な組織的対応に努める。	◆実践的な防災、防犯訓練を実施する。
課題教育	ふるさと教育	豊岡の「ひと・もの・こと」に学び、ふるさと豊岡を自分の言葉で語り誇れる力を育成する。	◆子どもの思考の過程がわかる成果物を残し、検証していく。
	コミュニケーション教育	対等な関係の中で自分を主張し、他者を理解できる基礎的なコミュニケーション能力を育成する。	◆「コミュニケーション能力の視点と留意点の一覧表」の“普段使い”を実践する。
	キャリア教育	「夢実現力(なりたい自分になるためにがんばりぬく力)」を育成するため、組織的・系統的なキャリア教育を推進する。	◆年間指導計画の見直しとキャリアノートの活用を行う。
	体験活動	体験での学びを、活動後の生活や学習に生かす。	◆体験学習を通して、コウノトリのことを知り、わかったことをまとめる。【環境体験事業】 ◆探求的な活動のプログラミングしていく。【自然学校】

人権教育	肯定的な関わりの中で、人権意識と自尊感情の高揚に努める。	◆日常の学習や生活の中で人権意識や自尊感情の高まりをめざす指導を行う。
特別支援教育	児童のアセスメントに基づき、一人一人の教育的ニーズを把握し、適切な教育的支援を行う。	◆全校児童について「個に対する支援シート」を作成し、具体的な支援・手だての充実を図る。
環境教育	豊岡の自然や生き物、コウノトリとの関わりを通して、自然に対する豊かな感性と命を尊ぶ心を育てる。	◆自然や生き物、コウノトリとの関わりを通して、感じたことやわかったことを文に表し残し、その後の学習とつなぐ取組を実践する。
安全教育・防災教育	実践的な知識やスキルの向上を図り、主体的な判断力・行動力を培う。	◆職員、児童が主体的に動く避難訓練を実施する。
健康教育	主体的に健康で安全な生活が送れるよう、健康管理ができる能力・態度・習慣を育てる。	◆睡眠調査票の記入を実施し、「眠育」の視点から生活習慣の改善とよりよい生活リズムの定着を図る。
食育	正しい食の知識や望ましい商習慣を身に付けるため、家庭・地域と連携して推進に努める。	◆「手作り弁当の日」を実施し、家庭との食育の連携を図る。
体力づくり (運動遊び)	運動習慣の定着と児童の課題に対応しながら、体力の向上と安定した心の育成に努める。	◆豊岡市準備運動を取り入れた「運動タイム」を行い、体力の向上を図る。
読書活動	読書環境を整え、読書活動の習慣化と読書の質の向上をめざす。	◆全校生が朝の読書タイムに静かに取り組み、読書の楽しさを味わい、読書活動の習慣化を図る。